

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援 きらきらハート		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能事業所であり、多様性を学ぶことが出来る。	一人一人の特性に合わせて療育活動や学習内容を設定しています。主にワンフロアでの学習や活動を行い、幅広い年齢の子どもたち同士が交流を図っています。必要に応じて環境や配置の配慮を行っていますが、子どもの可能な範囲でどのような環境においても対応できるような場面設定を行っています。	活動中の配置を工夫し、様々な環境、場面への対応を経験し、日常生活での対応力を養えるような工夫を行っています。
2	放課後等デイサービスへの移行がスムーズに行える。	多機能事業所の為、様々な年齢の子どもたちが同じ行事に参加し、交流の機会を設けています。その為、縦の関係を学び、築くことが出来ます。また、事業所内で就学後の様子が見られる為、具体的な説明が出来、見通しを立てやすくなるようにしていきます。	利用開始前には丁寧な説明を行います。児童本人、保護者が安心して移行出来るよう、随時相談にのり、きめ細やかな対応をしています。
3	職員同士の情報共有、共通理解が図れている。	一人一人の発達に合わせた活動を行っています。取り組み方や状況の変化は日頃のミーティングで共有し、統一した支援を行えるよう配慮しています。また、ご家族からの相談等に対し、きめ細やかに対応しています。必要に応じて関係機関との連絡調整や個別面談、学校訪問等を行い、状況の把握と他の関係機関との連携を図り、迅速に職員間で情報の共有をし、支援に繋がっています。	引き続き、職員間の連携を図り、ご家族の意向や思いに寄り添った支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりや交流が少ない。	感染症の流行があり、外部との交流の場を設けることに消極的になっていました。また、時間や曜日の問題があり、地域の行事に参加することが難しいです。	自治会に加入しています。広報等を活用し、地域の行事等の情報を収集し、可能な範囲で地域の行事に参加し、交流の場を設けていきます。
2			
3			